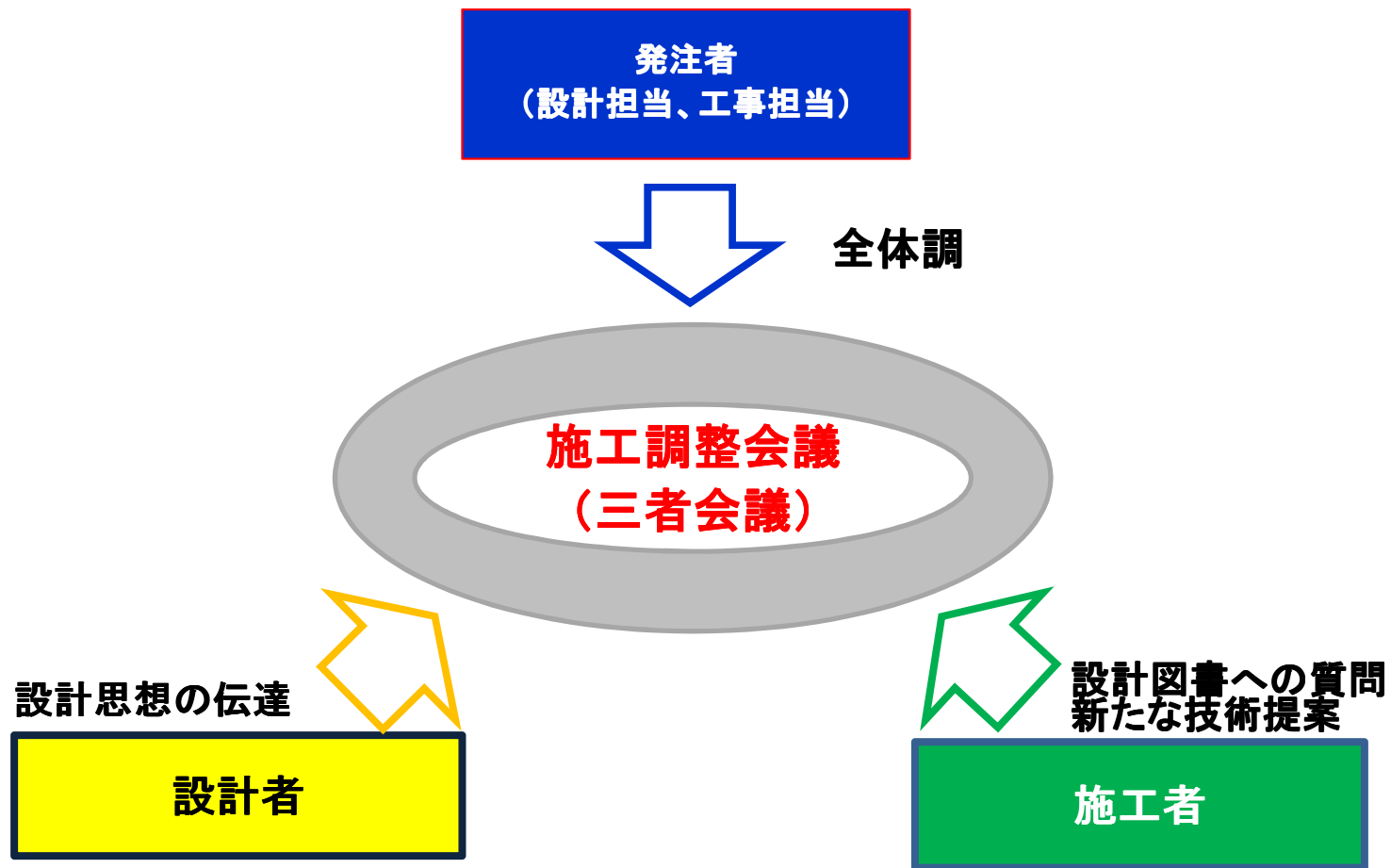


■ 施工調整会議（三者会議）の実施状況と今後の対応

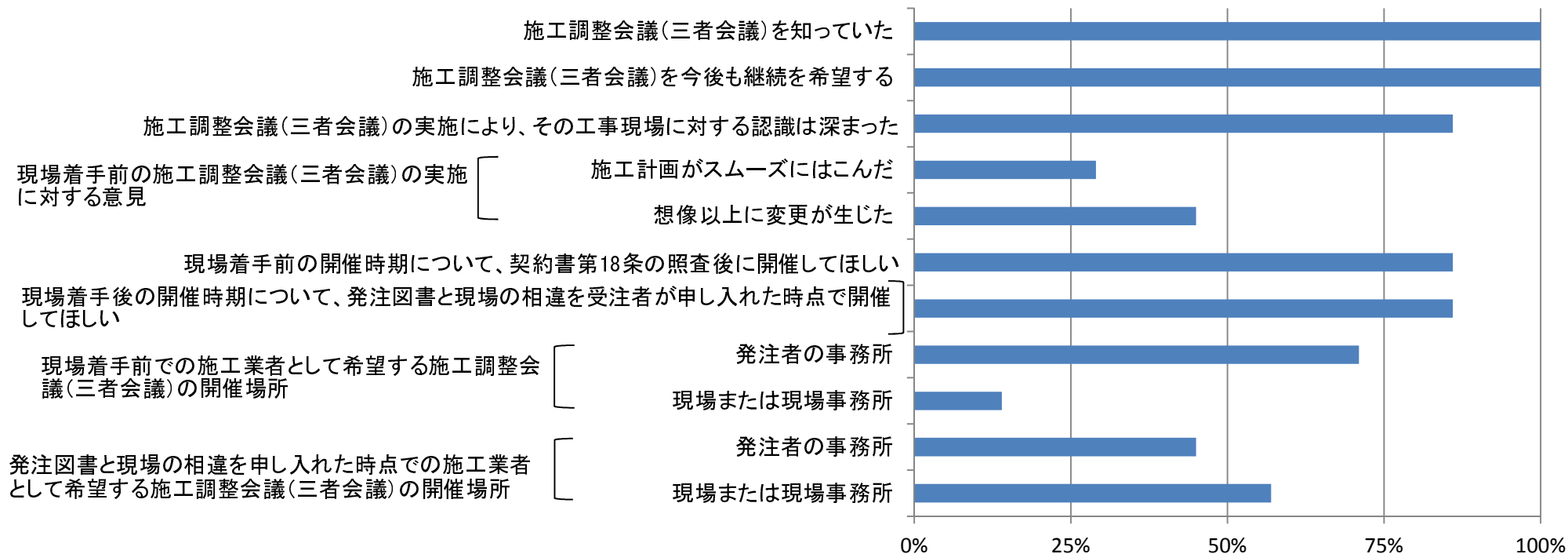
○ワンデーレスポンスの取り組みにおいて、特に「重要度が高い工事」については、現場で発生する諸問題に、さらに迅速に対応するため「施工調整会議（三者会議）」を実施し、その取り組み状況をアンケート調査により把握している。

※施工調整会議（三者会議）に期待される効果 （国土交通省資料から抜粋）



■ 施工調整会議(三者会議)の実施状況と今後の対応

○ アンケート調査の結果



○ アンケート調査の結果、以下の点について確認した。

- 「施工計画がスムーズにはこんだ」との意見が約 30(%)と少なく、逆に、「想像以上に変更が生じた」との意見が約 45(%)に上った。その理由を確認すると、「発注図面の不備による工期の遅延」であった。このことから、当初設計図書の不備が工程において大きく影響を及ぼしており、今後、改善が必要。
- その他
開催時期については、「現場着手時点」「発注図書と現場の相違を受注者が申し入れた時点」とし、開催場所については工事内容等を勘案し、現場にて行う。

次年度へ

「発注図書の不備」については、今後、起工時のチェックを徹底し、また、職員に対しても研修等を活用して、改善するよう周知・徹底を図る。